

第44回各務原市地域公共交通会議 議事録

日 時	令和7年1月14日（火）10：00～
場 所	各務原市産業文化センター 8階第2特別会議室
委 員 (敬称略)	【出席】(敬称略) 高井 勇輔 (名古屋鉄道株式会社地域連携部交通サービス担当課長) 宮部 敬輔 (岐阜乗合自動車株式会社営業管理部課長) 平塚 康男 (名鉄バス株式会社運輸本部交通企画官)(代理：前畑 貴博) 木村 治史 (公益社団法人岐阜県バス協会専務理事) 横山 孝司 (川島タクシー株式会社専務取締役) 石井 靖治 (岐阜交通東部株式会社代表取締役) 山田 健太郎 (株式会社日本タクシー代表取締役社長) 平下 和重 (岐阜県タクシー協会岐阜支部支部長) 江口 克己 (市自治会連合会副会長) 近藤 亜矢子 (子ども子育て会議委員) 清水 孝子 (八木山地区社会福祉協議会理事) 下平 真一郎 (中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官) 児玉 忠哲 (岐阜土木事務所施設管理課長)(代理：山田 雅仁) 今津 篤 (各務原警察署交通課長) 城戸脇 研一 (岐阜県都市建築部公共交通課長) 岩田 紀正 (各務原市議会経済教育常任委員長) 杉山 仁 (株式会社アイシンチョイソコサービス企画室室長) 川端 光昭 (岐阜工業高等専門学校環境都市工学科准教授) 今道 雄介 (各務原市副市長) 【事務局】 各務原市 産業活力部商工振興課

・議事

- ① ふれあいバスの改正について
- ② 路線バス「緑苑八木山線」減便及び「倉知線」廃止について
- ③ 緑苑団地デマンド便の運行について
- ④ コミュニティバス「テクノライナー」の運行について
- ⑤ 各務原市地域公共交通計画の変更について
- ⑥ 地域公共交通確保維持事業の計画変更について
- ⑦ 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価及び地域公共交通計画の評価結果について

・報告

- ① ふれあいバス等懇談会の開催結果について
- ② ふれあいバス運行事業者の公募について

・その他

■議事

- ・議事① ふれあいバスの改正について

※委員からの質問や意見は、なし

- ・議事② 路線バス「緑苑八木山線」減便及び「倉知線」廃止について

※委員からの質問や意見は、なし

- ・議事③ 緑苑団地デマンド便の運行について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<岐阜工業高等専門学校 川端委員> ・運行時間の設定根拠はどのようなデータを用いているのか。 ・この事業はいつまでが実証実験でいつから本格運行へ移行するのか。 ・住民にどのように周知していくのか。	<事務局> ・現在の緑苑八木山線で8時半から10時半に乗車人数が集中しているというデータがある。小回りの利くタクシー車両であり30分刻みとし本数を倍にしてこの方々が利用できるように設定した。 ・2年間の協定による実証の中で半年ごとに見直しをして本格運行へ移行していく。 ・市ウェブサイトで本日の議事資料を公開するほか、定期券利用者へは岐阜バスから文書を出して周知する。また、可能な限り早めにバス停や車内でも告知を行っていく。

- ・議事④ コミュニティバス「テクノライナー」の運行について

※委員からの質問や意見は、なし

- ・議事⑤ 各務原市地域公共交通計画の変更について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
(中部運輸局岐阜運輸支局主席運輸企画専門官 下平委員) ・現状、事業評価と計画評価は同時に行うことになっている。計画変更後のスケジュールの場合、2月の事業評価が当たった年にどのような対応になるか。	<事務局> ・前年度の公共交通計画の評価を4月に行い、同じ年度の今の時期に地域公共交通確保維持改善事業の自己評価と地域公共交通計画の評価結果を合わせて協議する。

- ・議事⑥ 地域公共交通確保維持事業の計画変更について

※委員からの質問や意見は、なし

- ・議事⑦ 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価及び地域公共交通の評価結果について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
〈岐阜工業高等専門学校 川端委員〉 ・地域公共交通計画の評価結果の2つ目に「分かりやすい情報提供」とある。公共交通計画の中にも入っているため、評価でも触れてはどうか。	〈事務局〉 ・追記する。

■報告

- ・報告① ふれあいバス等懇談会の開催結果について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
〈八木山地区社会福祉協議会理事 清水委員〉 ・運転士不足、人口減、利用者が少ない中で交通事業者、行政が苦悩していることはわかる。そういう中で住民が担っている取り組みもある。そういう取り組みを取り上げてほしい。	〈事務局〉 ・地域公共交通を維持していくために、事業者、行政、住民の三位一体で事業に取り組むこととしており、地域の方も一緒になった取り組みは大切。今後も意見をいただきながらより良い公共交通を目指していく。

- ・報告② ふれあいバス運行事業者の公募について

※委員からの質問や意見は、なし

■その他

- ・こども manaca おでかけキャンペーンのご紹介（名古屋鉄道株式会社）
- ・ぎふ暮らし移住フェアのご紹介（公益社団法人岐阜県バス協会）

■総括

川端委員 総括・指摘事項

- ・運転士不足、限られた予算の中で、利用者に不便のないように交通体系を維持していく提案があった。パターンダイヤ化や循環型路線を組むことで公共交通利用者が増えた事例などもあるため、それぞれの立場で今後も利用者が増えていくように尽力してほしい。
- ・委員の皆様には、年に一度ぐらいは「公共交通計画」に目を通し、取り組みの方向性を再確認していただけるとよい。そしてぜひこの会議の場でご意見、お考えをご提案いただきたい。